

気仙沼向洋高等学校

校訓 尚志 創造 力行



1 基本データ

創立 明治34年
 課程・学科：全日制課程・情報海洋科、産業経済科、機械技術科
 生徒数：354名
 所在地：〒988-0235
 宮城県気仙沼市長磯牧通78番地
 TEL：0226-27-2311
 FAX：0226-27-4413

ホームページアドレス：
<https://kkouyo-h.myswan.ed.jp/>
 電子メールアドレス：
 kkouyo-h@od.myswan.ed.jp
 主な交通機関
 ・BRT（JR高速輸送システムバス）
 ・(株)ミヤコーバス

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

「新時代の産業を担う若者よ
 集まれ」

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は、平成30年に創立116周年を迎えた歴史と伝統のある専門高校です。前身の「気仙沼町立水産補習学校」は、戦後の学制改革により「宮城県気仙沼水産高等学校」として再出発しました。昭和52年には階上地区に移転、翌年には男女共学になりました。平成6年には校名を変更し、「宮城県気仙沼向洋高等学校」として、3つの学科を有する現在の形に移行しました。

平成23年3月に起きた東日本大震災の影響により校舎が被災し、本吉響高校、気仙沼西高校、米谷工業高校の校舎、施設を借用し、授業を開始しました。同年11月からは気仙沼高校第2グラウンドに建設した仮設校舎での学校生活が続いていましたが、平成30年7月に階上地区に新校舎が完成し、8月から新校舎で学校生活を送っています。

(2) 設置学科等

(過去3年間の学科・コース別・前後期選抜別の出願者数・合格者数)

<前期選抜>

		H30	H29	H28
情報海洋科	出願者数	22	31	17
	合格者数	16	16	16
産業経済科	出願者数	41	24	28
	合格者数	16	16	16
機械技術科	出願者数	23	29	27
	合格者数	16	16	16

<後期選抜>

		H30	H29	H28
情報海洋科	出願者数	19	34	22
	合格者数	23	24	24
産業経済科	出願者数	33	36	32
	合格者数	24	24	25
機械技術科	出願者数	21	28	27
	合格者数	22	24	24

(3) 教育方針

個性と創造性の伸長を図り、豊かな人間性を育むとともに、専門的な知識と技術を習得させ、時代の進展に柔軟に対応できる人間の育成を教育目標としています。そのため「生徒一人ひとりが必要としている学力の育成とその充実」「自律し、他者と望ましい人間関係を構築出来る生徒の育成」「生徒が自主的に進路選択出来るような進路指導体制の充実」「地域から信頼される『開かれた学校づくり』の推進」「時代の要請に対応した学校経営のさらなる推進」に重点を置いています。「尚志・創造・力行」の校訓は「向洋三心」と呼ばれ、向洋生の指針になっています。

(4) 教育課程の特色

教育内容は、専門高校としての知識技術が習得できるだけでなく、普通科目を多く取り入れた特色あるものになっています。幅広い視野で物事を判断することができ、いろいろな社会分野に適応できるような人材を育成することを目指しています。

また、2年次から希望に応じて以下のようにそれぞれ2つの類型に分かれます(情報海洋科は1年次後半から)。

情報海洋科	海洋類型 情報電子類型
産業経済科	食品開発類型 食品ビジネス類型
機械技術科	機械システム類型 エンジンシステム類型

海洋類型は、海の利用や開発、生物の資源管理などを学びます。スクーバダイビング実習やクルーザーの沿岸航海、宮城丸によるハワイ航海実習などがあり、1級小型船舶操縦士など多くの資格が取得できます。情報電子類型は電気や電子の働きと、通信や情報処理など、その利用について学びます。

産業経済科は、食品について生産・加工・流通・消費までの幅広い専門知識を学びます。具体的には、缶詰やパンなどの食品製造・情報処理・簿記・マーケティング・商品開発などについて学び、検定合格者も大勢生まれています。さらに、食品開発類型は、栄養・環境に関して学び、新しい製品作りを目指します。食品ビジネス類型は、会計・販売に関して詳しく学び、ビジネスの知識を深めます。

機械システム類型は、機械や電子制御に関する基本的な知識と技術を学びます。CAD製図、小型ロボット製作・制御実習などがあります。エンジンシステム類型は、エンジンに関する基本的な知識と技術を学び、先端技術に対応できる能力を養います。両方の類型とも、トレース検定や溶接などの資格が取得できます。

(5) 行事・生徒会活動・部活動

運動部には12の部、文化部には5つの部があります。運動部では、ヨット部が東北大会に出場しています。その他にも相撲部や柔道部が東北大会に出場し、ラグビー部の生徒が県の合同選抜チームに選ばれ、全国合同大会に出場するなど、多くの運動部が各種大会で上位入賞を果たしました。文化部においても、電波研究会やハイテククラブなど、専門高校の特色を生かした部が活躍しています。

学校行事においては、6月の「体育祭」と10月の「向洋祭」が学校行事のメインとなっており、生徒たちの若さとエネルギーに溢れる行事となっています。そのほか、「野外活動」や「修学旅行」(2年)、そして「宮城丸出港式」などがあります。

(6) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	H29	H28	H27
大学	5	8	5
短期大学	4	3	2
専各学校	23	36	38
就職(県内)	36	39	33
就職(県外)	25	20	31
その他	10	10	12
卒業生計	103	116	121

主な進路先(平成30年3月卒業生)

()内は人数 (1)は省略

<大学>

盛岡大学、東北生活文化大学、神奈川工科大学、石巻専修大学、日本工業大学

<短期大学>

聖和学園短期大学、仙台青葉学院短期大学(2)、修紅短期大学

<専修各種学校>

本校専攻科(3)、東北職業能力開発大学校(2)、気仙沼高等技術専門学校(3)、気仙沼医師会附属看護学校 他

<就職>

宮城県職員(3)、気仙沼市職員、陸上自衛隊自衛官候補生、英雄海運(株)、(有)新徳丸漁業、共和水産(株)、(株)福島漁業、(株)協和エクスオ、日本電気(株)府中事業所、(株)ネクスコ東日本エンジニアリング、気仙沼漁業協同組合、白石電気工事(株)、(株)齊吉商店、畠和水産(株)、(株)ミヤカン、アイリスオーヤマ(株)(2)、(株)東北フジパン仙台工場、(株)緑水亭 篝火の湯緑水亭、(株)SUBARU群馬製作所、日産自動車(株)(3)、トヨタ自動車東日本(株)、東京理化器械(株)宮城工場(2)、キヤノン電子(株)東京本社(2)、(株)気仙沼商会、(株)クボタ宇都宮工場 他

3 入試情報

(1) 募集定員

情報海洋科 男女40名
産業経済科 男女40名
機械技術科 男女40名

(2) 前期選抜について

イ 学科別の募集割合等

情報海洋科 定員の40%以内(16名以内)
産業経済科 定員の40%以内(16名以内)
機械技術科 定員の40%以内(16名以内)

ロ 出願できる条件

《情報海洋科》

次の1～3の全ての条件を満たしていることを自己アピールできる者

- 1 情報海洋科の学習内容について明確に理解しており、電子・情報・通信または海洋に関する学習に強い興味・関心があり、本校入学後は専門知識や技術・技能の習得と専門分野での就職や大学等への進学を目指す者
- 2 教科以外の活動(部活動、生徒会活動、課外活動、その他校内外での諸活動)にも積極的かつ意欲的に取り組む意志のある者
- 3 基本的な生活習慣が身に付いている者

《産業経済科》

次の1～3の全ての条件を満たしていることを自己アピールできる者

- 1 産業経済科の学習内容について明確に理解しており、食品や商業に関する学習に強い興味・関心があり、本校入学後は専門知識や技術・技能の習得と専門分野での就職や大学等への進学を目指す者
- 2 教科以外の活動(部活動、生徒会活動、課外活動、その他校内外での諸活動)にも積極的かつ意欲的に取り組む意志のある者
- 3 基本的な生活習慣が身に付いている者

《機械技術科》

次の1～3の全ての条件を満たしていることを自己アピールできる者

- 1 機械技術科の学習内容について明確に理解しており、ロボット・機械などのものづくりに強い興味・関心があり、本校入学後は専門知識や技術・技能の習得と専門分野での就職や大学等への進学を目指す者
- 2 教科以外の活動(部活動、生徒会活動、課外活動、その他校内外での諸活動)にも積極的かつ意欲的に取り組む意志のある者
- 3 基本的な生活習慣が身に付いている者

ハ 学力検査 各学科とも 国語、数学、英語 各100点

ニ 学校独自検査

各学科とも 個人面接(配点75点) 10分

(3) 後期選抜について

イ 学科別募集人数

情報海洋科 24名(予定)
産業経済科 24名(予定)
機械技術科 24名(予定)

ロ 面接・実技の有無

各学科とも なし

ハ 傾斜配点の有無

各学科とも なし

ニ 調査書点と学力検査点の比重

各学科とも 4:6

ホ 学科の第2志望

該当あり

出願学科以外のいずれか1つの学科を第2志望とすることができる。

(4) 平成30年度転編入学試験について

日程	対象学年	試験科目等
随時	全学年 3月は新2、3年のみ	国・数・英・作文・専門科目・面接 (1年生は専門科目の試験なし)

4 写真で見る学校生活



我が校のPRポイント

本校では、普通教科の幅広い教養の上に、専門の知識と技術を深く身に付けることができます。地域の期待を受け、これまで多くの卒業生がフレッシュな人材として社会に巣立っていきました。学力を身に付けようとする諸君、部活動に打ち込もうという諸君、多くの資格を取得して将来に備えようという諸君、友だちを大事にして輝く高校生活を送ろうという諸君、本校教職員は、諸君を熱い心で歓迎し応援します。